



年の瀬を迎え、何かとあわただしい12月。生活リズムが崩れがちで、また感染症もはやる時期です。子どもたちにとっては、クリスマスに年末のお休みと、お楽しみがいっぱいの月ですが、体調管理には十分気を配っていきましょう。

新型コロナウイルス感染症に加え、これからの季節、インフルエンザやノロウイルス等の感染症が流行する時期となりました。感染拡大を防止する対策として、流行時期が落ち着くまで、以下のように休園か降園対応をとらせていただきます。

- ・発熱は従来通り、37.5℃以上ある場合。
- ・吐物の量に関係なく、嘔吐した場合。(状況に関係なく)
- ・健康時と比べ明らかに便が柔らかい場合。

さまざまな感染症が流行する季節です！
感染防止にご協力ください



油断できない かせ

かせは年齢が低いほど、中耳炎や気管支炎、肺炎などを起こしやすくなります。気管の弱いお子さんの場合は、のどがゼーゼーしたり、長引いたりする傾向があります。早めに診察を受けましょう。

冬のかぜによくある特徴

- せき・鼻水・のどの炎症・発熱 → 呼吸器系にくるかぜ
- 下痢・おう吐 → 消化器系にくるかぜ
- 両方の症状 → インフルエンザの疑い

☆持参のお薬について

最近、保護者の方からの手渡しではなく、園児が渡してくれたり通園バックに入ったままのことが増えてきました。原則、保護者の方から直接手渡しをお願いします。保育園では、直接手渡しいただけない場合は、お薬依頼をお受けできませんので、ご了承ください。

＊ ＊ ＊ 秋冬のスキンケア 3か条 ＊ ＊ ＊

＊ ＊ ＊
秋冬の乾燥した空気は、デリケートな子どもの肌には大敵。放っておくと、かゆかゆ、かさかさになってしまいます。「こまめに、丁寧に」日常的なケアをしてあげてください。

① たっぶり保湿

保湿剤は、お風呂上がりには必ず塗りましょう。肌に湿り気があるうちに使うと、角質層に水分を閉じ込められるので効果的。



② 清潔を保つ

顔に汚れなどが付いていたらきれいにふいて。お風呂ではごしごしこすらず、せっけんを泡立てて優しく洗います。

③ 刺激を少なくする

直接肌にふれる衣類は綿素材がお勧め。ポリエステルなどの合成繊維は静電気を起こしやすいため、皮膚を刺激してかゆみのもとに。



11月に発生した感染症
☆ とびひ

